

3 学期始業式 講話

「仕上げが肝心」

おはようございます。新年明けましておめでとうございます。年が変わって平成27年になりました。年末年始はどうでしたか。クリスマスプレゼントやお年玉、がちりゲットできましたか？

今日から3学期のスタートです。1月で年は変わりますが、学校の1年は4月に始まって3月に終わります。これを年度と言います。だから今日の始業式も平成26年度第3学期始業式です。そういう意味では3学期は1年間の最後、つまり、まとめの時期になります。

そこで今日のお話は「仕上げが肝心」という話にします。

絵でも書道でもお料理でもそうですが、「仕上げが肝心」とよく言いますね。

みなさんの学校生活が本当の意味で充実した1年間になるかは1月2月3月のこの3カ月にかかっています。

ただし、学校生活は点ではなくて線です。これまでのことを少し振り返ってください。1学期のはじめに「変わる」という話をしました。そして2学期のはじめには「今君に何が出来るか」を考えて自治の力をつけようと話しました。覚えていますか。仕上げをするにはこれまでの自分の生活を線と考えて振り返り、よい意味で変化があったか、自分だけでなく周囲の仲間や集団を考えて行動していたか・・・もしまだ変わりきれていない人や学校や学級のために貢献出

来きれてない人がいたら残り3カ月でもまだチャンスはあります。みなさん一人一人には無限の可能性が 있습니다。この3学期を大切にしていけることが、次へのステップに必ずつながります。

3年生、いよいよ進路に向けて勝負の時を迎えます。受験する人、高校に受けることがゴールではありません。高校は通過点に過ぎませんし、入学して3年間通って卒業することが大切です。だから今が大切なのです。今出来ないことは高校へ行っても出来ない。今の中学校生活をいい加減にしている人、いつ変わるのか、今を変えて今をしっかりしなければ高校生活は続きません。残り3カ月の日々を大切に、中学校生活の仕上げをしてください。

2年生、3学期にはスキー林間がありますね。でも先ほど点ではなく線だと言いましたが、大切なのは行事の時だけでなくその前やその後の生活です。2学期の終業式に代表の人が3学期は3年生の0学期だと言っていました、ああいいことを言うなあと感心しました。そうですね。2年生にとって3学期は仕上げと同時に3年生への出発の時でもあります。3学期は是非このことを意識してください。

1年生、初めての中学校生活、みなさんは本当に素直に一生懸命頑張っています。その姿は見ていてもすがすがしいです。ただ中には少し慣れたせいか、いい加減な行動をする人も見えてきました。入学式でも言いましたが中学校は大人になる準備をするところです。せっかくだいいスタートを切れたのですから最

後の3カ月でそれをもっと高めていけるようにすること、それが大人への第一歩です。そしてこの生徒たちならば安心して任せられると思われるような学年になってください。

3学期、最高の仕上げをすること、それが次へのステップとなるように意識して過ごすこと、このことをお願いして私の話を終わります。頑張りましょう。